

● 広報

おくび



2010

10

NO.672



すこやか
小国っ子
シリーズ⑪

～ 黄金色の恵みを背負って ～

北部小学校の稲刈り体験が、学校前の田んぼで、行われました。

子どもたちは、地域のおじいちゃん、おばあちゃんにカマの使い方や稲の束ね方を教わりながら、手作業での稲刈りに挑戦。元気に稲束を担ぐ姿が印象的でした。

報告

平成21年度一般会計と特別会計、企業会計の決算が、9月15日、町議会9月定例会で認定されました。

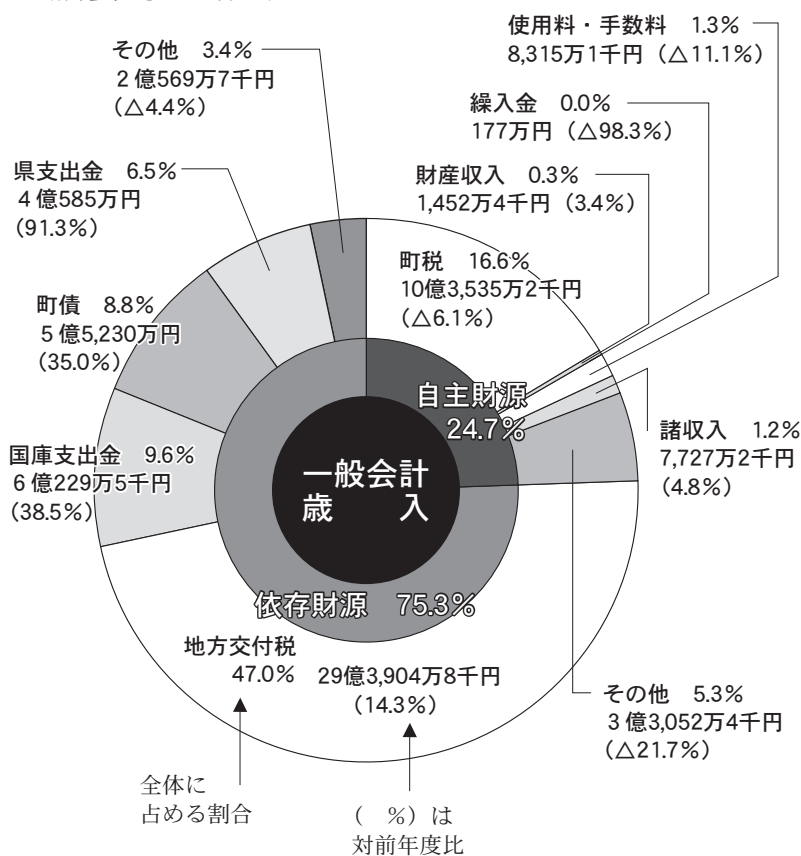
町では、厳しい景気状況が続くなか、町内経済、雇用対策を最重要課題に位置付け、各種施策を展開してきました。

今月はその概要について紹介します。

歳入総額 62億4,778万 3 千円 (10.6%)

(%)は対前年度比

一般会計の歳入



歳入用語解説

自主財源

町が自主的に収入することができる町税、使用料・手数料、繰入金など

【町税】町民のみなさんや法人などに納めていただく税金（個人・法人町民税、固定資産税、町たばこ税、軽自動車税など）

【繰入金】町の基金を下したお金

依存財源

国や県の意志決定を受けて収入される地方交付税、国・県支出金、町債など

【地方交付税】市町村の財政状況に応じて、国から交付されるお金。自治体間の財政力の不均衡をなくし、一定の行政サービスを行うことができるよう国税として集められた税金のうち、一定割合を再分配したもの。

【国・県支出金】補助金など特定の目的のため国や県から支出されるお金

【町債】町の借入金（借金）

町税のうち町民税が景気低迷の影響を受け、個人・法人ともに減少。町税全体で対前年度比6・1割の減となりました。このため、自主財源の総額は15億4,259万3千円（対前年度比14・6割の減）となりました。

また、国の経済対策各種交付金等を活用したことから、対前年度比で、国庫支出金が38・5割、県支出金が91・3割の増となりました。この結果、依存財源の総額は47億519万円（対前年度比22・4割の増）となりました。

歳入

平成21年度一般会計の決算は、歳入総額62億4,778万3千円、歳出総額58億6,410万3千円、差引額3億8,368万円の黒字となりました。

差引額から平成22年度繰越事業の財源を除いた実質収支は3億6,030万2千円となりました。

一般会計

平成21年度決算



歳出用語解説

【議会費】議員の報酬、行政調査、議会だよりに使うお金

【総務費】町財産の管理、企画、税務、住民登録、選挙、統計事務など、全般的な管理事務などに使うお金

【民生費】障がい者福祉、高齢者福祉、子育て支援などのお金

【衛生費】保健衛生やごみ処理、病院・水道会計の運営補助に使うお金

【労働費】勤労者への貸付や保証などに使うお金

【農林水産業費】農林水産業の振興・支援や、基盤整備などに使うお金

【商工費】商工業の振興、工業用水道、観光事業などに使うお金

【土木費】道路や河川整備、町営住宅や公園の管理に使うお金

【消防費】消防団の運営、防災資材の整備に使うお金

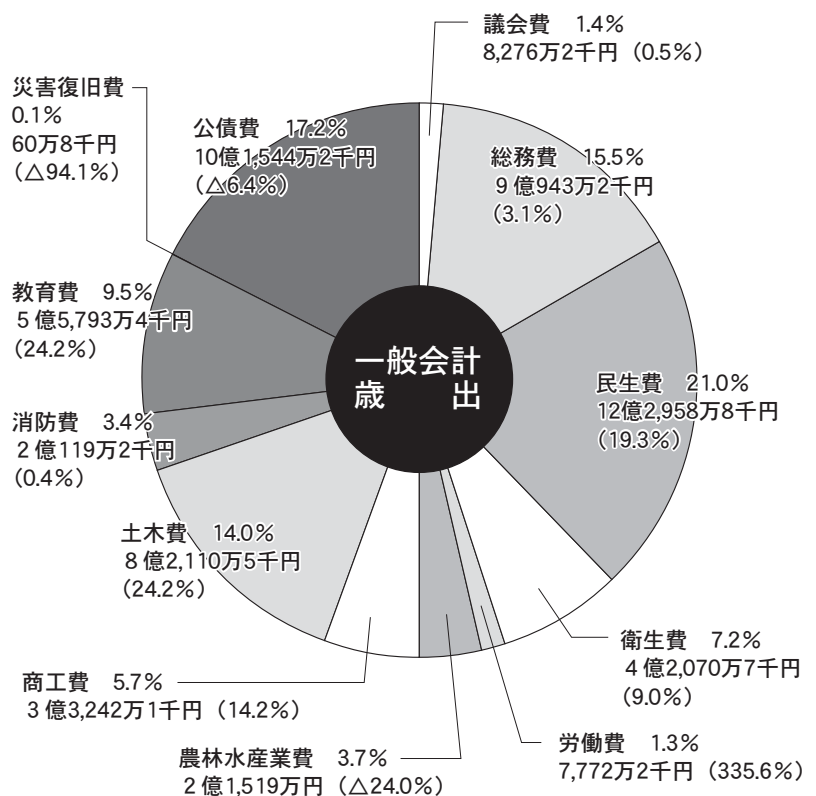
【教育費】小中学校の管理、生涯学習の推進、スポーツ振興などに使うお金

【公債費】町の借り入れた借金の返済金

歳出総額

58億6,410万 3 千円 (9.0%)

一般会計の歳出



歳出

歳出項目それぞれを前年度と比較すると、国の緊急経済対策による各種交付金事業の実施により、多くの項目で支出額が増加しました。

特に、労働費は、緊急雇用関連経費により対前年度比で335.6%の大幅増となりました。この経費では、役場の臨時職員として上半期に10人、下半期で16人を採用したほか、福祉施設が行う人材確保や育成事業などに対して支援を行いました。また、一時的な休業や教育訓練等を行った事業主に対して、国の助成金決定額の10%分を、さらに上乗せする助成を行いました。商工費は、町内消費の拡大と商店街の活性化を目的とした「プレミアム付き買物券発行事業(町商工会)」への支援や、交流施設の受入環境の整備(飯豊梅花皮荘温泉湯温低下対策など)により、対前年度比14.2%の増となりました。また、小国小学校の改築基本構想の策定や、耐震診断の

実施、学校建設基金の積み増しによって教育費が、町道改良などの増加などによって土木費が、それぞれ対前年度比24・2割の増となりました。

民生費は、民間保育所増改築等整備補助金などにより、対前年度比19・3割の増となりました。

一方、農林水産業費は、森林資源活用施設整備支援事業（木質チップ工場の整備）の完了などにより、対前年度比24・0割の減となりました。

また公債費は、過年度事業における借入の償還が一部終了したことにより、対前年度比6・4割の減となりました。

なお、歳出における投資的経費（道路や公共施設などの社会資本整備を行う経費）は、対前年度比79・9割の大幅増となりました。

平成21年度のまちづくりの展開と実施した主な事業については、下記のとおりです。

平成21年度まちづくりの展開と実施した主な事業

■子育てしやすい環境づくり

- ・小国町医療給付事業 34,871千円
（子育て支援、母子家庭等の医療費軽減のための給付。医療費無料化の対象を就学前児童まで拡充）
- ・中心商店街共同宅配サービス事業費補助金 686千円
（小国ポイント会の宅配サービス事業に事業費の一部を助成）
- ・民間保育所施設増改築整備事業 179,726千円
（すみれ保育園の移転新築事業に助成）
- ・妊婦出産支援事業 8,174千円
（妊婦検診に対する公費負担、出産支援金の交付）

■未来の小国を担う人づくり

- ・小国小学校改築基本構想策定業務委託事業 3,675千円
（小国小学校改築基本構想の策定）
- ・学校建設基金積立金 100,000千円
（学校建設のための基金を積み増し）
- ・小中高一貫教育支援事業 6,102千円
（国際理解教育の推進、短期留学への補助など）

■安全で安心な暮らしの舞台づくり

- ・道路新設改良事業 219,460千円
（町道中学校線、若山金目線、長者原内川線の改良工事など）
- ・町営バス実証運行事業 1,216千円
（デマンドタクシーの実証運行）
- ・赤芝浄水場建設工事等 93,750千円
（大宮地内に建設した赤芝浄水場の建築工事

等の経費）

■地域資源を活用した産業づくり

- ・プレミアム付き買物券発行事業費補助金 7,900千円
（プレミアム買物券発行への支援）
- ・森林病虫害等防除事業 6,879千円
（ナラ枯れの病虫害駆除に係る実証事業等）

■健康・快適を実感できるまちづくり

- ・健康増進事業 15,425千円
（各種検診、健康教育、健康相談、訪問指導等の保健サービス）
- ・新型インフルエンザ対策事業 3,478千円
（新型インフルエンザへの対策）

■自立を可能とする地域づくり

- ・過疎地域活性化に向けた集落支援推進研究事業 2,756千円
（新しい「過疎」の姿を探るシンポジウムの開催）
- ・地上デジタル放送受信施設整備支援事業 21,668千円
（地上デジタル放送完全移行に向けて、受信施設の改修に対して助成）

■景気・雇用対策

- ・労働者対策事業 62,915千円
（小国町緊急景気・雇用対策本部の設置、雇用相談員の配置、緊急雇用臨時職員の採用、緊急雇用維持支援事業の実施など）
- ・工業用水道利用確保助成 30,000千円
（コバレントマテリアル(株)工業用水の利用確保）

企業会計・特別会計の決算状況

企業会計	病院事業会計	
	事業収益	8億 848万円
	事業費用	8億8,807万円
	老人保健施設事業会計	
	事業収益	2億8,397万円
	事業費用	2億8,671万円
	水道事業会計	
	事業収益	9,659万円
	事業費用	6,619万円
	工業用水道事業会計	
特別会計	事業収益	9,132万円
	事業費用	9,027万円
	簡易水道事業特別会計	
	収入	5,600万円
	支出	2,661万円
	国民健康保険事業特別会計	
	収入	8億8,676万円
	支出	8億1,828万円
	部落有財産特別会計	
	収入	1億1,879万円
	支出	410万円
	老人保健特別会計	
	収入	774万円
	支出	771万円
	下水道事業特別会計	
	収入	3億5,992万円
	支出	3億5,789万円
	訪問看護特別会計	
	収入	1億 716万円
	支出	7,214万円
	介護保険特別会計	
	収入	8億6,496万円
	支出	8億5,133万円
	後期高齢者医療特別会計	
	収入	9,272万円
	支出	8,879万円

企業会計とは、独立採算の原則にたつて、歳入で歳出をまかない、事業展開を図るものです。小国町病院事業においては、診療機能の縮小や、新型インフルエンザ感染防止のための患者抑制など、厳しい経営環境に置かれていますが、「病院改革プラン」に基づいた各種対策により、医業費用の削減につなげることができました。また、小国町水道事業では、平成20年度から2カ年にわたり進めてきた赤芝浄

企業会計・特別会計

水場の建設整備が終了しました。

特別会計とは、特定の収入・支出を一般会計と区別して経理している会計です。自営業のかたなどを対象として、医療費の支給や健診事業などを行う国民健康保険特別会計、介護サービス事業を運営する介護保険特別会計など、町には8つの特別会計があります。企業会計・特別会計の決算額については、左の表のとおりです。

平成21年度決算に基づく健全化判断比率は、下表のとおりです。表中の早期健全化基準、財政再生基準を超えると、財政健全化法により、それぞれ早期健全化計画、財政再生計画の策定が義務付けられています。町の各会計に資金不足はなく、①一般会計などの赤字の大きさを財政規模に対する割合で表した「実質赤字比率」、②町の全ての会計の赤字の大きさを財政規模に対する割合で表した「連結実質

小国町は健全財政を維持

健全化判断比率

(単位：%)

区分	①実質赤字比率	②連結実質赤字比率	③実質公債費比率	④将来負担比率
町の健全化判断比率	— (-8.77)	— (-57.51)	15.0	97.4
早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	40.00	35.0	

※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「—」と表示
※参考として、黒字の比率を（ ）内にマイナス表記

赤字比率」、③町の借入金の返済額の大きさを財政規模に対する割合で表した「実質公債費比率」、④町の現在抱えている負債の大きさを財政規模に対する割合で表した「将来負担比率」——いずれの指標においても平成20年度より改善しており、財政悪化の判断基準に達していません。
町では、今後も社会情勢の変化に対応しながら、引き続き、行財政改革に取り組み、健全な財政運営に努め、各種事業に取り組んでいきます。

町議会 定例会

平成二十二年第五回小国町議会定例会が、九月七日から十五日まで開会されました。平成二十一年度歳入歳出決算の認定のほか、平成二十二年一般会計補正予算などが審議され、原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

専決処分の承認

集中豪雨により七月十日に崩落した普通河川「館の沢川」護岸（大字沼沢地内）を復旧するための工事費の追加補正（七百万円）について、町長が専決処分を行い、議会の承認を得ました。

一般会計に

一億八千九百三十万円を追加

●記念事業に要する経費を追加

新小国町誕生五十周年を記念し、文化の日表彰式典において、これまで町づくりに貢献されたかたがたを顕彰することとしたほか、記念講演を行うこととしました。

また、記念事業の一環として、横川ダム湖畔において、植樹祭（オオヤマザクラの苗木を植樹）を開催することとしました。

●木質チップボイラーに湯温インバーターを敷設

木質チップボイラーについて、より安定的な温水の供給確保するため、エア抜きバルブ等を設置するとともに、温水の急激な温度上昇による配管の破損を防ぐ「湯温インバーター」を敷設することとしました。

●電子申告ネットワークの整備

地方税の電子申告や国税とのデータ連携に向けた

ネットワーク環境の整備、基幹税システムの改修を行うこととしました。

●保育所の機能強化

県の保育所等環境改善事業費補助金を活用し、町立保育所に感染症対策等の設備を整備することとしました。また、民間三保育所が行う同様の事業に対して補助することとしました。

●新型インフルエンザ予防接種

新型インフルエンザ予防接種については、昨年と同様に、所得の低いかたには全額を、一歳から高校三年生に対しては半額をそれぞれ助成することとしました。

●斎場の飲料水確保

斎場では、敷地内に井戸を掘削して飲料水等を確保していますが、鉄分が強い

小国町高齢者顕彰式が開催

第四十六回小国町高齢者顕彰式が、九月十五日、町民体育館で開催されました。

当日は、米寿十四人、喜寿五十一人の計六十五人が出席。小野町長が式辞を述べた後、代表者に記念品を贈りました。

町内における百歳以上のかたは十人、来年百歳となる白寿のかたは九人です。白寿のかたがたには、町長が直接訪問し、お祝いを申し上げます。（人数は九月十五日現在）





田沢頭地区、雑穀の植え付け

使用してきたほか、給水車による補給も行ってきました。今後、抜本的な飲料水等の確保を図るため、深井戸ボーリングによる掘削を行うこととしました。

●田沢頭自治会に助成

平成二十二年度豊かな暮らしづくり表彰事業において、田沢頭自治会が、農林水産大臣賞の受賞が内定しました。この成果発表等に必要経費について助成することとしました。

田沢頭自治会は、昭和五十四年に「みんなでつくろうなごやかなむら」を活動のテーマに据え、全員参加の村づくりを展開してきました。遊休農地を活用した雑穀栽培の展開や、農産物の生産から、加工、流通までに至る「六次産業化」の推進などが高く評価されたものです。

●プレミアム買物券発行事業に助成

町商工会が実施する「プレミアム付き買い物券発行事業」について、町内消費の底上げと流出防止などに大きな効果があることから、今年度二回目となる発行事業経費の一部を助成することとしました。

●交流施設の修繕

利用しやすい環境を整えるため、梅花皮荘及び川入荘のトイレをウォッシュレット化することとしました。

●債務負担行為の設定

飯豊梅花皮荘ほか十六の観光交流施設については、平成二十二年度末をもって指定管理者制度による管理期間が終了します。

このことから、管理を継続することとし、新たな管理期間と、管理費限度額を設定しました。

●居宅介護サービス等の住宅改修に所要額を追加

居宅介護サービス等の給付費、暮らしにやさしい住まいづくり助成事業において、予定を上回る申込みが見込まれることから、所要額を追加しました。

●監査委員の選任

平成二十二年十月三十一日で任期が満了する監査委員について、田中達男氏（小国小坂町）が再任されました。任期は、平成二十六年十月三十一日までとなります。

職員の不祥事に係るお詫び

本年六月に発生した元教育委員会事務局職員の着服・横領事件につきましては、昨年発生した町職員の不祥事に続き、町民の皆さまの信用、信頼を著しく失墜させる重大な行為であります。町職員を代表して、深くお詫び申し上げます。

また、このことに対する責任を重く受け止め、町長、副町長並びに教育長の十月の給与月額を百分の二十減ずることとし、このたびの町議会に提案し、可決いただいたところであります。

今後、二度とこのような事件が発生することのないように、具体的な再発防止に努めるとともに、職員の綱紀粛正の徹底と公務員倫理の確保、人材育成に力を注ぎながら、町民の信用、信頼の回復に向けて取り組んでまいります。

小国町長 小野 精一

大蔵流山本会狂言 おぐに公演



大蔵流山本会狂言おぐに公演が、九月十七日、小国高校体育館で開催されました。

これは、町内の児童・生徒を中心に、身近な場所で一流の古典芸能に触れる機会をつくるため、町教育関係者や文化団体が構成する白い森古典芸能ふれあい事業実行委員会（河内昭佐会長）が主催したものです。同実行委員会では、これまでも小国小学校、小国中学校を会場にした狂言公演を行っており、今年で四回目の開催となりました。

今回の公演では、大蔵流山本会の山本東次郎氏をはじめ四人の狂言方が来町しました。大名が蚊の精と相撲をとる『蚊相撲（かずもう）』と、隣り合わせの蔵に閉じ込められた太郎冠者と次郎冠者が雨樋（あまどい）を使い酒盛りを始める『樋の酒（ひのさけ）』



- ①蚊相撲の一場面。左が蚊の精を演じる山本則秀氏、右が大名を演じる山本則重氏。狂言での白い衣装は“裸”の意。
②山本則重氏（右）、山本則秀氏（左）の指導のもとに行われたワークショップ。狂言での歩き方を体験。
③会場には町内の小学5、6年生から一般のかたまで約400人が訪れ、狂言の世界を楽しんだ。

樋の酒

シテ（太郎冠者）山本東次郎氏（写真右）
アド（次郎冠者）山本 則俊氏（写真左）
次郎冠者が雨樋（あまどい）を使い、隣の蔵にいる太郎冠者に酒を注ぐシーン。



の二つの演目が演じられました。

会場では、狂言方の滑稽な演技に、たくさんの方の笑い拍手が送られていました。

また、公演後には、来場者を対象に、狂言ワークショップも行われました。生徒らは舞台上がり、狂言の立ち方や歩き方、声の出し方などを体験しました。

代表してお礼の言葉を述べた小国高校三年の舟山真君は、「八百年続いている芸能を身近に見て、とても感動しました。自分たちの地域の文化も大切にしていきたいと思いました」と話していました。

河内実行委員長は、「地方では、日本の伝統文化、芸能に触れる機会が少ないと思います。先生方は公演だけでなく、狂言の歴史なども分かりやすく解説してくれました。子どもたちの目の前で繰り広げられる歴史ある芸能。こうした体験を通して、子どもたちの文化を大切にすることを育てていきたいと考えています」と話してくれました。

9/1

日ごろの考えを発表 ～第49回少年の主張小国地区大会～



白沼中3年 井上雛子さん 北部中3年 齋藤紗夕里さん 叶水中3年 直木美枝さん
白沼中3年 草刈あずきさん 小国中3年 菅野真央さん 小国中3年 塚原力哉君

第49回少年の主張小国地区大会が、9月1日、小国中学校で開催されました。

大会には、各中学校の代表6人が出場し、日ごろの体験から学んだことを主張しました。

審査の結果、以下の皆さんが入賞しました。

▽最優秀賞「たくさんの『ありがとう』」小国中3年菅野真央さん▽優秀賞「白沼の伝統を思う」白沼中学校3年草刈あずきさん▽優良賞「自分を変えてくれたもの」小国中学校3年塚原力哉君

9/10

豪快な投げ技、飛ぶ歓声 ～稲荷神社奉納相撲大会～

コバレントマテリアル(株)小国事業所の稲荷神社奉納相撲大会が、9月10日、同社相撲場で開催され、選手たちが熱戦を繰り広げました。

この大会は、稲荷神社の祭りにあわせて毎年開かれており、同社の各職場から選手が参加。同僚の声援を背に、次々と技を繰り出していました。

会場では、豪快な投げ技や、押し出しが決まるたびに、大きな拍手と歓声が上がり、土俵は熱気に包まれていました。



土俵際の攻防

9/12

受け継がれている伝統行事 ～白子神社の祭典～



集落内の各戸をまわる獅子

白子沢地区にある「白子神社」の祭典が、9月12日に行われました。この祭典は、宮司による神前の祭礼が終わった後、獅子が神社から繰り出して、集落内の全戸をまわり、悪魔退散、家内安全を祈るものです。

また、この行事では、獅子を先導する鳥毛（とりげ）や、奴（やつこ）などの役に、地域の子どもたちも参加しています。

白子沢地区では、明治6年からこの様式で祭典が行われており、130年以上にわたり、伝統が引き継がれています。

9/12

22年ぶりに再開

～第17回南部地区大運動会～



スタートの合図を待つ子どもたち



来賓も参加したパン食い競争

第17回南部地区大運動会が、9月12日、旧玉川小中学校で行われました。

南部地区大運動会は、南部地区体育協会が主体となり、昭和48年から昭和63年まで、毎年実施されていましたが、平成元年以降は開催を見合わせていました。

このたび、南部地区体育協会が、スポーツを通じて地域住民の親睦を深めるとともに、健康で明るい南部地区を目指すため、関係団体の協力を得て、22年ぶりの再開が実現したものです。

当日は、雨天により体育館での開催となりましたが、大会には、地域の子どもからお年寄りまで、約250人が参加。徒競走や借り物競走、パン食い競争など計16の種目が行われました。一生懸命に走り回る選手に、たくさんの方の声援が送られていました。

小玉川、足水リバーズ、玉川の3チームの対抗戦の結果、玉川地区が優勝しました。



この人に聞く

南部地区体育協会

会長 佐藤和美さん
(樽口)



南部地区体育協会会長の佐藤和美さんにお話を伺いました。「南部地区には、小中学校の統合により、学校がなくなりました。こうした環境のもと、地区体育協会では、南部地区の交流と新睦を深める「運動会」の再開に向けて検討を進めてきました。

このたび、町教育委員会やスポーツクラブYui、地元企業など、多くの皆さんの支援をいただきながら、復活したものです。大会は、子どもからお年寄りまで、地域の皆さんが参加し、和気あいあいと進めることができました。

今後も、スポーツを通じた交流、地域活性化を図り、健康で明るい南部地区を目指していきたいと考えています。」と話してくれました。

お知らせコーナー

ご案内

紅葉ウォークin温身平

■日時 10月23日(土)
午前10時～午後3時

■場所 温身平周辺

■参加費 千円
(飯豊山荘前集合)

■持ち物 弁当、飲み物、レジャーシート、タオル、帽子、雨具、トレッキングシューズなどの歩きやすい靴

■申込・問合先 産業振興課商工観光室へ

第25回黒沢峠まつり

■日時 10月31日(日)

午前9時～午後2時

※雨天決行

■場所 白い森おぐに湖

■内容 黒沢峠トレッキング

グ、丸太切り、カラオケなど

■参加費 大人三千円、中学生以下千円

■申込締切 10月22日(金)

■申込・問合先

黒沢峠敷石道保存会事務局

(☎62-4374)へ

森林ガイド

～薬師森トレッキング～

■日時 10月9日(土)

午前7時20分発、午後6時20分解散(集合・解散は置賜森林管理署)

■内容 薬師森(米沢市)トレッキング、自然観察

■申込期限 10月6日(水)

■定員 18名

■参加費 三千円

■その他 登山に適した服装・装備をお願いします。

■申込・問合先 置賜森林管理署業務課森林ふれあい係

(☎62-2246)へ

第8回おぐに鍋まつり

■日時 11月7日(日)

午前11時30分開場、正午スタート

■場所 ふれあいの家

■その他 出店者を募集しています。出店されるかたは10月12日(火)までお申込みください。※出店要項など、詳しくはお問合せください。

■申込・問合先 鍋まつり実行委員会(小国町商工会内)

(☎62-4146)へ

募集

町営住宅入居者募集

■小坂町勤労者住宅 2K 2戸

▽家賃 三万三千円

■岩井沢勤労者住宅 3DK 3戸

▽家賃 四万二千元

▽対象 小坂町・岩井沢ともに、町内の事業所にお勤めのかた

■敷金 家賃の3ヶ月分

■募集期限 10月12日(火)

■入居時期 10月下旬以降

■問合先

地域整備課建設管理室へ

県営住宅入居者募集

■募集住宅 3DK 4戸

▽家賃 所得により決定

▽対象 同居親族がいるかた(所得制限あり)

■敷金 家賃の3ヵ月分

■募集期間

10月8日(金)～15日(金)

■入居時期 11月下旬

■問合先

すまい情報センター(☎0238-24-2332)へ

平成22年度地価調査結果

平成22年度地価調査が公表されました。小国町に関するものは、次の表のとおりです。地価調査とは、県内全市町村を対象として、各地域で基準となる土地価格を公表し、土地を売買する際の目安としていただくものです。

■問合先

総務企画課政策企画室へ

平成22年度地価調査結果

基準地の所在	当年価格	前年価格	変動率
兵庫館一丁目6番11号	10,600(円/㎡)	10,800(円/㎡)	-1.9%
緑町三丁目9番1	19,600(円/㎡)	20,000(円/㎡)	-2.0%
兵庫館三丁目5番18外3筆	10,300(円/㎡)	11,100(円/㎡)	-7.2%
小国小坂町字八木沢三125番	49,500(円/10a)	50,000(円/10a)	-1.0%

次回の町長と語る日は11月を予定しています。

皆さんの声をお寄せください。

町長室専用メール shiromori@town.oguni.yamagata.jp

町長室専用FAX 0238(62)2611

総合センター図書室から

●新着図書

- ◇小さいうち 中嶋 京子
- ◇かのこちゃんとマドレーヌ夫人 万城目 学
- ◇刑事眼 三沢 明彦
- ◇宇宙方程式の研究 小林正観・山平松生

◇100歳の夢

日本ドリームプロジェクト

◇犬部！北里大学獣医学部

片野 ゆか

◇ベランダでもっともっとすずなり野菜

深町 貴子

◇シルクのべっぴん塾 シルク

◇まよけの民俗誌 斎藤 たま

◇学習まんがが少年少女日本の歴史

児玉幸多・監修

●休館日…毎週月曜日、祝日

☆なかよし広場☆
 ▼日程と場所
 10月7日、21日
 総合センター

☆あそびの広場☆
 ▼日程 10月5日、12日、
 19日「子育て講座・親子で
 元気に体操」、26日
 時間 午前10時～11時30分
 場所 健康管理センター
 対象者 0歳から入園前
 の
 お子さんとお家のかた

子育て支援
 センターから

問合せ先
 子育て支援センターへ

☆おぐに保育園まつり☆
 ▼日程 11月13日(土)
 時間 午前9時～午後1時
 場所 健康管理センター
 内容 お楽しみマジックショー、
 親子でキャラ弁を作ろう
 申込期限 11月11日(木)

▼10月14日、28日
 おぐに保育園
 時間 午前10時～11時30分
 対象者 0歳から入園前
 の
 お子さんとお家のかた

事業所名	職種	求人数	勤務時間
斉藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	8:00～17:00
(株)横川建設	土木施工管理技士(見習い可)、重車輛オペレーター	4人	8:00～17:00
日本重化学工業(株) 小国事業所	機能金属材料の製造及び附帯する業務	3人	8:15～17:15 8:15～20:15 20:15～8:15
遠藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	8:00～17:00
(有)コンビニエンス オレンジ	店員(一般またはパート)	4人	9:00～18:00他
協同組合小国ポイント会(小国町商工会内)	配達員(年度毎更新)	1人	9:00～17:00
ハイコー(株)	電気工事(見習い可)	1人	8:00～17:00
合資会社山佐 佐藤農機店	営業・販売・整備工	1人	8:30～17:30
(株)コメリ 新潟地区本部	販売員(リージョナル社員)(山形・新潟・長野北信、中信)	1人	9:00～18:00 11:30～20:30
(株)ケープロダクツ	自動車整備、ショッピングサイト管理	3人	9:00～18:00
(有)佐藤測量設計	測量・設計、土木施工管理、CAD図面作成・編集	2人	8:30～17:30
KATEKYO学院 長井校	完全個別指導 家庭教師	10人	17:00～21:00 18:00～22:00 19:00～21:00又は 10:00～22:00の間の2時間
(株)金十商店	生鮮作業業務・レジ、事務全般	4人	9:30～12:30 16:00～20:00

国税に関する相談は電話相談センターへ

国税に関する一般的なご相談は「電話相談センター」でお答えします。

電話相談センター ☎0238-84-1810 音声案内「1」

(長井税務署)

求 人 情 報

左の表は、9月27日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。

既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へお問い合わせください。

今月の納税 2010.10

10月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●10月26日(火) 水道料

●11月1日(月) 町県民税(3期)、国保税(4期)、後期高齢者保険料(4期)、介護保険料、下水道料・簡易下水道料、住宅使用料、保育料等

■問合せ先 税務課税政管理室へ

■保健カレンダー

■問合先 健康福祉課

月 日	内 容	受付時間	対象のお子さん(生まれた月)	場 所
11月24日(水)	2歳児歯科健診	13:00～13:15	H22年1月～H22年4月	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳
11月26日(金)	1歳児健診	13:00～13:10	H21年11月	
	4カ月児健診	13:10～13:20	H22年7月	

後期高齢者医療に加入しているかたへ

高額介護合算療養費制度とは

同一世帯に属する後期高齢者医療の被保険者が、1年間(計算期間:8月1日から翌年7月31日)に支払った医療費の自己負担額と介護保険の自己負担額を合算し、下記の表の限度額を500円以上超える場合、被保険者からの申請により超えた金額をお返しする制度です。

山形県後期高齢者医療広域連合から「高額介護合算療養費の支給申請のお知らせ」が届いたかたは申請を行ってください。お知らせが届かなくとも、計算期間の途中で、山形県後期高齢者医療制度に加入(75歳到達、県外からの転入)されたかたや、資格を喪失されたかた(死亡、県外への転出)で、支給対象と思われるかたはお問合せください。

所得区分		12ヵ月の限度額 計算期間 H20.8月～H21.7月 H21.8月～H22.7月	16ヵ月の限度額 計算期間 H20.4月～H21.7月
若い世代並みに所得のあるかた		67万円	89万円
一般的な所得のかた		56万円	75万円
住民税非課税世帯のかた	区分Ⅰ 以外のかた (区分Ⅱ)	31万円	41万円
	所得が一定基準以下のかた (区分Ⅰ)	19万円	25万円

■問合先 町民課国保医療担当へ

まだ、がん検診を受けていないかたへ

町の今年度の検診日程も、残すところわずかとなりました。がん検診を申し込んで、まだ受けていないかたは、決められた地区日程以外でも受診できますので、これからの日程で都合の良い日に受診してください。

また、まだ申し込んでいないかたも受診できますので、お問合せください。

がん検診日程

月 日	受付時間	会 場	対 象 地 区
11月8日(月)	7:30～9:00	健康管理センター	本町1・2・3、岩井沢1・2
11月9日(火)	〃	〃	北、旭町、兵庫館2、小芦
11月10日(水)	〃	〃	平林、上岩井沢、あけぼの、若竹寮

※対象地区の申込者には、問診票を発送します。

《レディース検診》

子宮がん検診・乳がん検診をまだお申込みでない方は、南陽検診センター会場の日程を追加しましたので、ぜひ、お申込みください。

・11月16日(火)及び11月18日(木)

*南陽検診センターまではバスが出ます。健康管理センター出発12:00

■問合先 健康福祉課へ

町立病院 内科医師の 異動について

町立病院内科医師齋藤吉彦先生が10月1日から県立中央病院に異動になりました。これに伴い、新たに内科医師宇賀神智先生が着任することとなりました。

■問合先

町立病院へ



- 小国町役場 ☎62-2111(代) ☎62-5464
- 行政管理室 ☎62-2112 ●政策企画室 ☎62-2264 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
- 国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403 ●会計室 ☎62-2406
- 農林振興室 ☎62-2408 ●商工観光室 ☎62-2416 ●建設管理室・上下水道室 ☎62-2431
- 建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448

相談

年金相談

- 日時 10月20日(水) 10:30～14:30
- 場所 役場町民相談室
- 対応者 日本年金機構
米沢事務所職員
- 問合せ先 町民課住民窓口担当へ

人権相談

- 日時 10月20日(水) 10:00～12:00
- 場所 総合センター
- 対応者 町人権擁護委員
- 問合せ先 町民課町民生活担当へ

行政相談

- 日時 10月23日(土) 10:00～12:00
- 場所 総合センター
- 対応者 行政相談委員 齋藤恒助氏
- 問合せ先 町民課町民生活担当へ

消費者相談

- 日時 10月30日(土) 10:00～15:00
- 場所 役場雇用相談室
- 内容 多重債務に関する相談など
- 対応者 司法書士 舟山健蔵氏
- 申込み 事前に申込が必要です。
- 申込・問合せ先 町民課町民生活担当へ

無料登記相談会

- 日時 10月17日(日) 10:00～15:00
- 場所 山形地方方法務局米沢支局
- 内容 登記、相続、離婚、親子、成年後見、多重債務、土地境界などについて、法務局職員や土地家屋調査士、司法書士、公証人が無料で相談に応じます。
- 申込・問合せ先 山形地方方法務局米沢支局 (☎0238-22-2148) へ

スポーツクラブYuiからのお知らせ

おぐにスポーツクラブYuiでは、平成22年10月以降の入会について、平成22年度分年会費を半額(1,500円)にします。さらに、新たに入会されるかたには、各教室の無料体験も実施します。(一部教室を除く)

- 問合せ先 スポーツクラブYui (☎62-5808) へ

小国町文化祭

小国町文化祭が、下記のとおり開催されます。入場は無料ですので、皆さんぜひお越しください。

開催日程

期 日	内 容	時 間	場 所
10月30日(土)	沖小・古田歌舞伎公演	12:30～16:00	沖庭小学校体育館
11月2日(火)	作品展示	9:00～20:00	町民体育館
	茶席(宗偏流)	9:30～15:00	
11月3日(水)	作品展示	9:00～17:30	町民体育館
	茶席(江戸千家)	9:30～15:00	
	芸能まつり	12:00～16:00	
	物産販売	10:00～16:00	
11月6日(土)	民謡まつり	18:00～21:00	総合センター
	山遊亭金太郎落語会	17:00～19:00	総合センター

＜展示作品を募集しています！＞

小国町文化協会では、11月2日・3日に展示する作品を募集しています。

■出展作品規格

種別	規 格	留意事項
書道	半紙・画仙紙・条巾半切などを使用してください。	雅号で出品されるかたは、別紙に本名を書いて作品と一緒に提出してください。
俳句・短歌	短冊または色紙に書いてください。	
絵画など	洋画、日本画、版画、ちぎり絵、デザインなどで、大きさは自由です。	額縁などに入れて提出してください。
写真	白黒・カラープリントのどちらでも構いません。大きさは、四つ切り以上。組写真にする場合は、キャビネ版以上の大きさを使用してください。	題名、撮影年月日、場所を記入してください。額縁などに入れて提出してください。

※上記のほか、民芸品、手芸品、郷土資料、生け花、盆栽、陶芸など多くの作品を募集しています。詳しくは、小国町文化協会事務局(教育委員会事務局内)へお問合せください。

- 募集期間 10月12日(火)～22日(金)
- 申込方法 総合センターに備え付けの申込用紙に必要事項を記入のうえ申し込んでください。
- その他 作品規格などの詳細は、お問合せください。
- 申込・問合せ先 小国町文化協会事務局(教育委員会事務局内)へ

10/15～11/30 極楽峠の通り抜けができません

主要地方道玉川沼沢線において、天然ガスパイプラインの保全工事実施のため、10月15日から11月30日までの間、極楽峠(大滝～新股)の通り抜けができませんので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

- 問合せ先 置賜総合支庁建設部西置賜道路計画課 (☎88-8229) へ

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

幸 町 岩 崎 ^{りゅうせい} 流星 (元 希
岩 井 沢 石 山 ^{なつき} 夏希 (恵 徹
伊 佐 領 新 澤 ^{せいな} 聖那 (ゆかり 俊
由 樹

結婚おめでとうございます。

(福 島 県 今 野 勝
若 山 舟 山 紗 智
(増 岡 舟 山 尚 克
伊 佐 領 佐 藤 さゆ子
(五 味 沢 小 池 辰 則
新 潟 県 小 嶋 翔 子

おくやみ申し上げます。

西 木 村 ロ ク (81)
伊 佐 領 高 橋 忠太郎 (83)
町 原 宮 崎 公 子 (89)
岩 井 沢 佐 藤 つじ子 (93)
伊 佐 領 渡 部 テ ッ (86)
黒 沢 安 部 ノリ子 (74)
栄 町 阿 部 弘 一 (82)
新 原 米 野 志 ん (89)
大 石 沢 岩 崎 フ ミ (89)
越 中 里 木 村 俊 勝 (78)
沼 沢 佐 藤 みや子 (82)

人口のうごき

人 口 男 … 4,428人(－1)
女 … 4,693人(－5)
計 … 9,121人(－6)
世帯数 3,252世帯(+1)

平成22年8月31日現在

伝えよう！広めよう！ おぐにの食文化

シリーズ⑥



材 料

米…………… 1 升 くるみ…………… 適宜
砂糖…………… 800 g 水…………… 250 ～ 300cc
(黒砂糖でも可)

※上記の分量で、25個程度のからこを作ることができます。

作 り 方

- ① 米を1日水につけておく。
- ② ①をうすに入れてつき、粉にする。
- ③ ②に砂糖をいれ、一晩そのままにしておく。
- ④ うすでくるみをつぶし、そのうすに③を入れ、水を入れてよく練る。
- ⑤ 小さくちぎり、丸く団子のようにして皿に盛る。

伝承者：齋藤以智子さん(石滝)



からこは、稲の収穫が終わったところに、新米で作っていました。そして、神様に供え、家族で食べていました。お菓子が手に入らない時代に、その代わりとして食べられていたものだと思いますが、農作業の節目に伝統的に食されていたものでもあります。

昔は、砂糖が貴重だったので、からこは甘くなかった(砂糖の分量が少なかった)と記憶しています。囲炉裏の上で焼いて食べていたときを懐かしく思います。

編集後記

9月19日、山形市で開催された「山形おぐに会の集い」に出席させていただきました。小国を離れて暮らす皆さまとお話をさせていたいただきながら、ふるさと小国を想う気持ちを強く感じたところです。

10月は、キノコなどの山の恵みが本格シーズンを迎えるとともに、山々の紅葉が始まります。小国ならではの味覚、景色を堪能できる季節です。ただ気になるのは、今年のクマの目撃情報の多さ。山に入るときは、クマに遭遇しないよう、例年以上に注意する必要があります。

(加藤)